



2014年5月27日

ジェットスターグループ

ジェットスターグループ、おかげさまで就航 10 周年

～低運賃の空の旅を提供し続けるパイオニアとして、
今後も空の旅の新しい形を提供～

ジェットスター・ジャパンを含むジェットスターブランドを有する航空会社 5 社を傘下に持つジェットスターグループは、この度就航 10 周年を迎えました。これまで 1 億 4 千万人以上ものお客様にジェットスターが提供する低運賃をご利用いただき、空の旅をより身近なものにしてきました。

ジェットスターは、2004 年 5 月にオーストラリア東海岸沿いの 13 都市に就航しました。現在のグループ規模は、就航当時に比べ 10 倍にまで拡大しアジア太平洋地域の 17 の国と地域、64 都市に向けて週 4,000 便以上を運航しています。

ジェットスターグループは、ジェットスター航空(オーストラリアおよびニュージーランド)、ジェットスター・アジア航空、ジェットスター・パシフィック航空、ジェットスター・ジャパンの 5 社から構成されており、近々ジェットスター香港の就航も予定されています。

ジェットスターグループ CEO のジェイン・ハードリカは次のように述べています。
「10 年前に、今日のジェットスターの姿を想像できた人はいなかったでしょう。私たちが構築したビジネスモデルは、アジア太平洋地域内の 17 の国と地域に導入され人々の移動手段に変化をもたらしました。

ジェットスターは、アジア太平洋地域において低運賃を提供し続けているパイオニアと自負しています。シンガポールでは、モバイル・チェックインやウェブ・チェックインの『Straight to Gate』サービスを導入しました。日本においてはコンビニエンスストアでも航空券の予約・購入をできるようにし、航空券購入の選択肢の幅を広げました。また、ジェットスターは、アジア太平洋地域における LCC として初めてボーイング 787 ドリームライナーを運航しました。

これら全てを達成できたのも、私たちの安全に対する強い思いと、社員の協力、そして何よりも 10 年前の就航から本日に至るまでジェットスターをご利用いただいた 1 億 4 千万人以上ものお客様があつてこそです。

オーストラリアでジェットスターの 10 周年を祝うと同時に、日本で起こりつつある空の旅の新しい形が根付くことを期待しています。」

ジェットスター・ジャパン代表取締役社長の鈴木みゆきは、次のように述べています。
「2012 年にジェットスター・ジャパンとして日本の国内線に就航してから既に 400 万人を超えるお客様にご利用いただいたことに感謝しています。ジェットスターグループとして就航 10 周年を迎えましたが、グループとしての 10 年間の経験とノウハウを活用し、今後も、いつでもお手ごろな運賃を提供し、楽しい空の旅を提案できる身近な航空会社になるべく努力して参ります。」



就航 10 周年を記念してオーストラリア国内線に導入される特別デザインのエアバス A320 型機

ジェットスターグループについて

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の路線網を誇り最も急速に成長している LCC で、オーストラリアおよびニュージーランドのジェットスター航空(カンタスグループの子会社)、シンガポールのジェットスター・アジア航空、ベトナムのジェットスター・パシフィック航空、日本のジェットスター・ジャパン、そして香港のジェットスター香港(関係当局の承認を前提とする)から構成されています。ジェットスターグループ全体で、アジアの 30 都市及び中国の 8 都市を含むアジア太平洋地域の 60 都市以上に週 4,000 便以上を運航しています。2013 年会計年度には、ジェットスターグループ全体で 2,300 万人超のお客様にご利用頂きました。

ジェットスター・ジャパン株式会社について

ジェットスター・ジャパンは 2012 年 7 月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄に就航した LCC であり、2013 年からは名古屋(3 月)、大分(3 月)、鹿児島(5 月)、松山(6 月)、高松(12 月)にも就航しています。現在、エアバス社 A320 型新造機 18 機(180 席/機)で 14 路線、1 日最大 76 便運航しており、今後 24 機まで増強する予定です。ジェットスター・ジャパンには、豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。